

学校だより

# 千栄っ子

2月号

令和3年2月26日

飯田市立千栄小学校

発行責任者 大池世佳

## 学習発表会

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



1・2年生音楽



3・4年生音楽



5・6年生音楽



感染予防に配慮した形での学習発表と音楽発表を行いました。一年生は図工と算数の発表、二年生はけん玉と大きくなったぼく・わたし等の発表、三年生は国語・戦争等の発表、四年生はポップコーン・縄跳びの発表、五年生はオリジナルだれ五平餅の劇、六年生はオールEnglishの修学旅行まとめ等、どの学年もこの1年の成果を確かめる場面になりました。また、音楽発表では1・2年生オリジナル創作曲4グループの発表（一人一人が作った曲と知り、さらに驚きました。鉄琴の音色が美しかったです。）3・4年生「レッツゴーソーレー」「ラ・クンパルシータ」（めりはりのあるタンゴの曲がかっこよかったです。）5・6年生「パッフェルベルのカノン」（一人一台、全員が異なる楽器の演奏で厚みがあり、ミュージックベ

ルが曲を引き締めていました。) 学習発表も音楽発表も制約があったからこそ、逆に例年にな  
い創意と工夫で思い出深いものになりました。参加できず残念なお気持ちの中、感染予防に  
協力していただいたご家族の皆様、お家の方に見てもらおうことを張り合いにしてきた子ども  
たち。申し訳ない気持ちですが、ご理解いただきましたことに感謝申し上げます。



## 児童会選挙 (2/12)・児童総会 (2/18)

1 2 日に行われた児童会選挙はオンライン立会演説会。候補者の表  
情が画面に大きく映し出され、いつもと違う迫力のある立会演説会に  
なりました。投票は6年生教室で人数制限をしながら、普段より高い  
仕切り。1 8 日の児童総会では、ICT の技術を子どもたちはフル活用。  
議案書はコンピューターで見られるようにペーパーレス化、オンライン  
開催。今回の中心議題はタブレット使用の決まりを子どもたち自身で  
作り、議決されました。立案までには子どもたちの試行錯誤の過程が  
ありました。まず、全校児童と職員にコンピューターでアンケートし、



その結果をグラフでまとめて分析、6年生が共同編集し  
て立案したものです。子どもたち自身が使うタブレットの  
ルールを子ども自身で作成し、守っていくことの意味は大き  
いです。こうした子どもたちの活動を見ていると、コロナ



で頭を悩ましてくよくよしているのは大人ばかりで、子どもたちはアフターコロナに向けて、  
主体的に次のステップに進み、自分たちの生活を自分たちの手で作り上げ、楽しんでいるよう  
に思います。1年間で素晴らしい成長を遂げました。

## 窯じまい

学校日より、1月号でお伝えしましたように、炭焼き窯の老朽化  
のため、窯じまいになりました。今回も煙突の穴が半分以上塞がれ  
るように内側に崩れ、何とか修理し最後の炭焼きを行いました。



長い間千栄小学校の子どもたちが大切にし、体験を積んできた窯  
に感謝の思いを伝えたいと、5年生の呼びかけで最後の炭焼きは全  
校で行いました。初めて窯に入った子どもたちは「こんなに広いの」  
「たくさんの薪だね。」とさまざまな感激の声を発しながら、5年  
生の教える姿は、千栄小学校の縦のきずなの強さを感じました。  
19日には全校で窯から炭を出し、黒光りしている炭を見つめながら  
互いに喜び合っていました。長い間、炭焼きをしてくださった橋爪先  
生本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。



## 学びを止めない

全県の感染レベルも1に下がり、今までできないでいた授業公開もで  
きるようになってきました。公開授業とは、先生方が1時間の授業の様  
子を参観し、お互いに学び合う先生方の勉強の時間です。同僚性を発揮  
し、仲間から良い刺激を受け、また指摘し合うことで自分の授業を改善  
する研鑽の場です。先生方もコロナだからと言い訳せず、研修し、指導  
力を磨いています。

